

基礎生物学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会・心理学・教育学委員会合同

生物リズム分科会

第25期・第2回 議事録

日時：令和3年5月21日（金） 12時00分～14時00分

場所：ZOOMによるオンライン会議

出席：深田委員、秋山委員、上田（泰）委員、遠藤委員、  
尾崎委員、影山委員、近藤委員、坂田委員、佐竹委員、内匠委員  
沼田委員、本間（研）委員、本間（さ）委員、三島委員、吉村委員

欠席：上田（昌）委員、

**審議事項**

**1．コロナ禍における生活リズムに関する公開シンポジウム開催について**

学術会議のあり方を見直す上で対話を通じた発信力の強化が指摘されており、長期的視点に立った提言以外に、時宜にかなったわかりやすい情報発信も必要ではないかという意見が尾崎委員より出された。これを受け、コロナ禍における生活リズムについての公開シンポジウムを開催することが深田委員長より提案され、承認された。

シンポジウムの内容や形式、日程等についてさまざまな意見が出され、議論を行った結果、以下のような内容で調整を進めることとなった。

**形式** : 関連学会・関連団体との連携による公開シンポジウムを行う。  
日本時間生物学会、日本睡眠学会を想定している。

**日時** : 8月7日（土曜）、21日（土曜）、28日（土曜）を軸に、事務局が有するZoomアカウントの利用状況や演者のスケジュールを元に日程を調整する。

**講演内容** : リモートワーク、子供の生活、学生の孤立、コロナウイルスと疾患、総合討論を想定し、演者として三島委員、本間（さ）委員が推薦され、他に外部の数名の先生の名前が挙げられた。また、深田委員長が挨拶をすることとなった。

**コメント** : 極力データに基づいた科学的な議論が可能な演者を選定する。仮に自身で大規模なデータを取っていなくても適切に引用し、自身の結果と併せて提示できる、あるいは科学的根拠に基づく将来予測ができる演者が望ましい。

市民への情報発信という趣旨を鑑みて、アーカイブ視聴、シンポジウム後も質問できる仕組み、参加者からのフィードバックが得られるような形式、などを積極的に考えた方が良い。

いつまでに、どの程度まで詳細を詰めた提案書を出す必要があるのかを事務局が確認すると共に、三島委員を中心としたワーキンググループが引き続き検討を行うこととなった。

## ２．その他

近藤特任連携会員より、今後も本分科会が活発に活動が続けることを期待している旨の発言があった。

以上